

d-ROMsテスト&BAPテスト

活性酸素・フリーラジカルってなあに？

活性酸素・フリーラジカルはわたしたちの細胞や体内の代謝活動において作られ、生きるうえで必要なものです。ところが、偏った食事、不健康な生活習慣、心理的要因、何らかの病変などによって活性酸素・フリーラジカルが過剰に作られてしまい、その状態が長く続くと細胞が傷つき、早い老化や病気をもたらしてしまうのです。

活性酸素・フリーラジカルと健康

技術の進歩と研究の進展により、活性酸素・フリーラジカルとわたしたちの健康との関連の重要性が理解されてきました。活性酸素・フリーラジカルが増えすぎると老化の促進や病気をもたらすこと、そして過剰な活性酸素・フリーラジカルを消去するために、抗酸化食品を摂り生活習慣を改善することの大切さが科学的に示されるようになりました。



活性酸素・フリーラジカル、そして抗酸化力とは？

活性酸素 ----- とても反応性の高い酸素分子のことで、体内で脂質と結合して有害な過酸化脂質を作ることに関与しています。

フリーラジカル ----- 通常はペアを組んでいる電子が不対になって反応性が高く不安定な原子・分子団。体内では有害な作用をもたらします。

抗酸化力とは ----- 過剰な活性酸素・フリーラジカルによる酸化作用を打ち消す力。

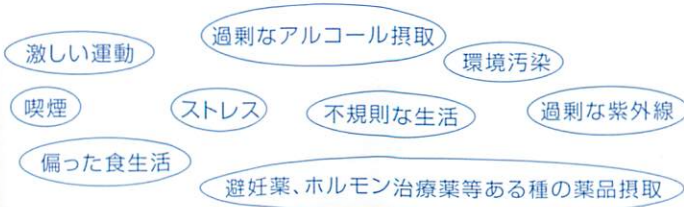
抗酸化食品 ----- 活性酸素・フリーラジカルと対抗するための食品群。緑黄色野菜、セサミン(ゴマ)、ポリフェノール、ワイン(但し一日グラス一杯)、など。

活性酸素・フリーラジカルが体に与える影響

過剰な活性酸素・フリーラジカルは次のような病気と関係があります。

老化	
動脈硬化	
皮膚の変性	しみ、しわ
脳神経	パーキンソン病、アルツハイマー型痴呆、筋萎縮性側索硬化症、てんかん
眼疾患	糖尿病性網膜症、白内障など
呼吸器	気管支喘息、喫煙による気道障害など
循環器	虚血性不整脈、心筋梗塞、高血圧
消化器	急性胃粘膜障害、胃潰瘍、大腸炎、膵炎、脂肪肝など
腎臓	腎不全、尿毒症など
糖尿病	
アレルギー、リウマチ性疾患	免疫不全、膠原病など
発ガン	

活性酸素・フリーラジカルが体内で過剰に作られる状態



活性酸素・フリーラジカルを簡単にその場で測定

簡単、正確なフリーラジカル測定(約6分)



少量の血液で測定します。



特殊な検査液と混ぜ、遠心分離を行いません。



光度計での計測後、結果が数値として自動印刷されます。

測定結果

この分析測定により、酸化ストレスと抗酸化力が数値で出ます。

酸化ストレス度測定(d-ROMsテスト)

血液における、活性酸素・フリーラジカルによる代謝物(ヒドロペルオキシド)を分析測定し、数値化したもの

正常	200~300
ボーダーライン	301~320
軽度の酸化ストレス	321~340
中程度の酸化ストレス	341~400
強度の酸化ストレス	401~500
かなり強度の酸化ストレス	501以上

*単位=U.CARR
(開発者名からとった任意単位:1U.CARR=0.08mg/100mLH₂O₂)

抗酸化力測定(BAPテスト)

過剰な活性酸素・フリーラジカルをどれくらい打ち消す力があるかをみるもので、血液中の還元力(酸化に対抗する力)を分析測定し、数値化したもの

2200以上	最適
2000~2200	ボーダーライン
1800~2000	抗酸化力がやや不足
1600~1800	抗酸化力が不足
1400~1600	抗酸化力がかなり不足
1400以下	抗酸化力が大幅に不足

単位:μmol/l

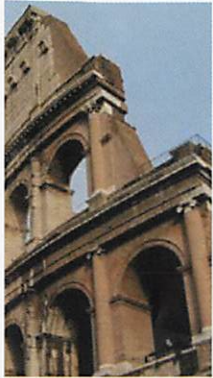


d-ROMsテスト&BAPテスト

ヨーロッパで注目の
活性酸素・フリーラジカル
測定

イタリア・テルメククリニックでの使用

イタリア人は古代ローマ帝国時代からの温泉好き。イタリアのテルメにはクリニックが必ず併設されドクターがしっかりと健康管理をしています。イタリアで最も有名で人気の高い洞窟テルメ「グロッタ・ジュスティ」、そして高級テルメの「サトゥルシニア」でもこの活性酸素・フリーラジカル測定を用いた温泉療法モニター・抗老化／美容のアドバイス、健康管理が行なわれています。



プロスポーツ選手の健康管理でも大活躍のd-ROMsとBAPテスト。ヨーロッパの有名なプロサッカーチームの多くがd-ROMsとBAPテストで選手のコンディショニングを行なっています。選手の、激しい運動に伴う酸化ストレス・抗酸化力の変化をチェックして練習量の調整や試合への出場などのマネージメントに生かされており、スポーツ医学全体でも重要な項目となりつつあります。

プロスポーツ選手の健康管理でも大活躍のd-ROMsとBAPテスト。ヨーロッパの有名なプロサッカーチームの多くがd-ROMsとBAPテストで選手のコンディショニングを行なっています。選手の、激しい運動に伴う酸化ストレス・抗酸化力の変化をチェックして練習量の調整や試合への出場などのマネージメントに生かされており、スポーツ医学全体でも重要な項目となりつつあります。

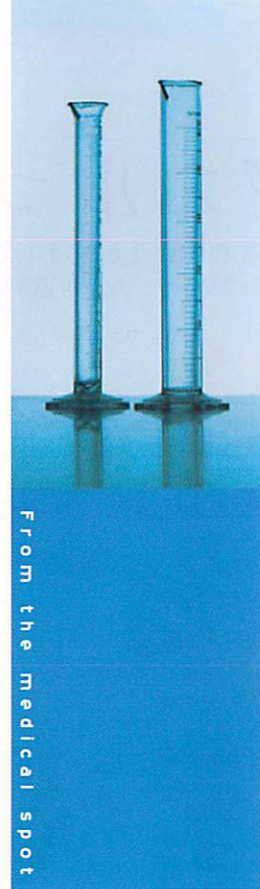


最先端の研究分野

フリーラジカル・活性酸素の研究は医学、生化学の分野で現在の最先端の研究分野の一つです。

人間の体におけるフリーラジカル・活性酸素の分析測定は、従来はとて大掛かりな機械でのみ可能でした。このd-ROMsテストとBAPテストの開発により、ヒトの体が、フリーラジカル・活性酸素によってどれくらい細胞や分子が傷ついているか、また、過剰なフリーラジカル・活性酸素をどれくらい消去する力があるのか、を短時間で正確に、簡単な操作で行なうことができるようになりました。

病気になる前に、細胞の老化や損傷の度合いをチェックし食事内容や生活習慣を見直すためのモニターをし、また、体調を崩してしまっただけからは快癒に向けて自分の体内の状態をモニターするのにとても有効です。



活性酸素・フリーラジカル
計りませんか？

d-ROMsテスト:酸化ストレス度測定 BAPテスト:抗酸化力測定

自分の体内の [Free radicals and reactive oxygen] 活性酸素・フリーラジカルを計ることで、今不調な方は健康への道筋を、今健康な方は若さと健康を保つために自分の状態をモニターできます。

お問い合わせは下記まで